



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ

2026

翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会 第25回全国障害者スポーツ大会



競技役員マニュアル

陸上競技（身・知）

競技役員 業務必携

【各係共通】



競技日：令和8年10月23日（金）～25日（月）

公式練習・監督会議：令和8年10月22日（木）

競技会場：新青森県総合運動公園陸上競技場

〔カクヒログループアスレチックスタジアム〕

目次

1	総務	1
2	総務員	1
3	競技進行係	2
4	技術総務	3
5	ジュリー（上訴審判員）	3
6	審判長	3
7	アナウンサー	3
8	大型映像係	4
9	報道係	6
10	記録・情報処理員（含印刷係）	6
11	マーシャル	7
12	競技者係	8
13	ミックスゾーン係	11
14	入賞者管理係	11
15	役員係	12
16	来賓・視察員係	13
17	庶務係	13
18	T I C	14
19	補助員係	14
20	式典・表彰係（含入賞者管理係）	15
21	公式計測員	17
22	風力計測員	18
23	衣類運搬係	20
24	練習会場係	21
25	写真判定員	22
26	監察員	22
27	ビデオ監察	24
28	スターター・リコーラー	24
29	出発係	25
30	周回記録員（含時計・決勝）	27
31	跳躍審判員	27
32	投擲審判員	29
33	科学計測員	30
34	車いす検査係	31
35	特殊種目審判員	32
※	各種目における準備物・担当係一覧	34

【1 総務】

1 任 務

- (1) 競技会前及び競技会当日における作業の中心となり、競技会を成立させる。
競技会を管理し、競技会を順調に進行させる責任を負う。
- (2) 各競技役員の任務遂行の状況を監視（資質・技能・出席状況）し、必要に応じて代わりを指名する。
- (3) マーシャルと協同し、許可された者以外は競技場内に立ち入らないように場内整理する。
- (4) 必要に応じて、総務員に任務の一部を委任して業務を遂行させる。

委任区分	委任する業務	担当総務員
総 括	競技会全般及び表彰に関すること	珍田
総 務	運営システムの総務関係全般に関すること 抗議に係る対応	柳田 對馬
特 殊	障がい者スポーツ全般・特殊競技に関すること。	珍田
審 判	各競技役員、補助員の動向に関すること。	藤村
報 道	報道関係者の対応業務に関すること。	對馬
競 技	競技運営の競技全般に関すること。	名後
情報処理（記録）	記録情報処理に関すること。	見付
庶 務	上記以外の大会運営業務全般に関すること。	志田

【2 総務員】

1 総務員：総括

総務から委任された任務（上記表）を分担し、連携を保ち総合管理にあたる。

2 総務員：総務

次の事項についてその状況を確認し、プログラムが順調に進行するように配慮する。

- (1) 役員係と連携して競技役員・補助員の出席状況を把握し、補充及び配置の調整を図る。
- (2) マーシャルと連携し、場内の規律保持・場内整理に努める。
- (3) 招集所審判長と連携して招集状況、誘導方法、スパイクシューズの条件・商標規制等の措置・調整を図る。
- (4) 記録員、情報処理員と連携して、記録の流れ・記録管理・記録の発表等、迅速かつ円滑化を図る。
- (5) 担当総務員と連携して抗議の処置を図る。
(申し立て中の競技者出場の場合、審判長との連絡)
- (6) 報道係・表彰係と連携して、インタビュー・表彰の円滑化及び調整を図る。
- (7) 技術総務、関係競技役員と連携し、雨天・荒天対策を図る。
- (8) 看護師と連携し、救急関係措置を講ずる。
- (9) 練習会場係と連携し、練習会場の適正使用を図る。

(10) 視察員に関する対応策を講ずる。

3 総務員：特殊

障がい者スポーツ全般・特殊競技に関すること。

4 総務員：審判担当の任務と留意点

競技役員及び補助員の審判業務の総括

5 総務員：報道担当の任務

報道関係の総括を行う。

マーシャルと連携し、場内の規律保持・場内整理に努める。

6 総務員：競技担当の任務

競技運営全般が、スムーズに行われるように計画実施に当たる。

7 総務員：情報処理（記録）

記録情報処理に関すること。

8 総務員：庶務

上記以外の大会運営業務全般に関すること。

【3 競技進行係】

1 任 務

- (1) 各総務員と連携を保ち、競技会の進行状況を把握し、各担当役員に指示して、競技会がプログラムどおり順調に進行するよう調整にあたる。
- (2) 進行表を作成し、総務員、審判長、各役員主任へ配布する。
- (3) 大型映像装置への表示を以って公式記録発表とする。依って表示時刻を記録しておく。
- (4) 総務員、審判長、大型映像、アナウンサー、表彰、跳躍・投てき、競技者係、記録情報、写真判定の関係部署と適宜連絡が取れるようにし、競技がスムーズに進行できるよう、各部署との連携をしっかりとる。
- (5) 競技運営における不都合がないか、アナウンス席から競技場全体を常に注視し、異変があればすぐに各関係部署へ連絡する。

2 留意点

- (1) 区分24・25は視覚に障害がある選手が出場し、音を頼りに競技するので、アナウンス、BGM、応援など音を発するものに配慮する必要がある。事前に各部署と連携をとり対応する。
- (2) 音響走は一人ずつの競技になるので、進行表作成の時には、1人5分ほどを見積もるようする。
- (3) 種目数・組数ともに多いので、一人一人の選手紹介等は行わず大型スクリーンでの紹介とすることを関係部署と確認する。
- (4) 1組の中に区分が多数あることが多いので、区分ごとの結果発表ができるように、アナウンスと連携をとり進行する。

【4 技術総務】

1 任 務

- (1) 総務の直接指導の下で行動し、競技会の進行に支障のないように「陸上競技場公認に関する細則」に定める各条項に基づいて競技施設が整えられ、競技の実施が可能であるか否かを、公式計測員に確認させ、報告を求める。
- (2) 各種目で使用する用器具等の設置を確認するとともに、安全を確認する。【各種目における準備物一覧表】参照のこと
- (3) 総務、総務員、審判長と連携を密にし、関係競技役員を指揮し適切な処置を講ずる。

【5 ジュリー（上訴審判員）】

1 任 務

- (1) 抗議について裁定し、また競技会の進行中に生じた問題のうち、その決定を付託された事項について判定する。その決定は最終的なものである。しかしながら、新しい事実が提出され、それが規則に適合していれば、再審議してもよい。
- (2) 総務員（抗議担当）との連携を踏まえた対応を経る場合がある。

【6 審判長】

1 任 務

競技規則及び競技実施要領に基づいて、競技が正しく行われているかどうかを監視して、競技中に発生した全ての問題や、規則に規定されていない事項などの裁定の責を負う。

2 留意点

- (1) 競技の行われている種目の主任と通信手段で常に連携して、発生した問題を速やかに裁定して、競技運営を中断させることがないように、常に監視する。
- (2) 競技の順位に疑義が生じた場合、事情を確認して審判員の決めきれない事項に限り裁定を下す。
- (3) 規則違反又は妨害等を行った競技者を失格させる権限や再レースを行う権限を有する。
- (4) トラックレースで記録がない場合でも、再レースは行わず順位のみを決定する。

【7 アナウンサー】

1 任 務

- (1) 進行総務員の指示のもと、競技の紹介、実況、成績発表、時刻規正、気象状況の発表を行う。また、運営上必要な観衆への指示・連絡・案内などを行う。
- (2) 表彰係の指示のもと、表彰アナウンスを行う。
※ 表彰アナウンスは表彰エリアで行う。

2 留意点

- (1) 情報過多は競技の阻害要因となる場合があるので、その点に配慮する。
- (2) 手話通訳・文字情報支援による情報保障が行われることから、情報保障の業務の円滑な実施のために簡潔・明瞭なアナウンスを心掛ける。
- (3) 過密タイムテーブルであるため、進行総務員の指示のもとでトラック競技の進行を最優先にアナウンスを行う。
- (4) 跳躍競技・投てき競技は、競技間のわずかなタイミングを活用してアナウンスを行うため、常に競技紹介や選手紹介が行えるように準備しておく。
- (5) 視覚障がい者（障害区分 24, 25）の音を頼りにする競技（50m・跳躍・投てき）では観客に対してその旨を伝え、静かにするよう協力を依頼する。また、以後アナウンスを中断して競技の進行の支障にならないようにする。

〔トラック競技〕

- 1 スタート前
競技紹介（競技No., 性別, 種目をアナウンスする）
- 2 レース途中
 - (1) 先頭の紹介
 - (2) スプリットタイム, ラップタイムの伝達（1500mまでは1周毎）
- 3 レース後
競技結果の伝達（競技No., 性別, 種目, ）

〔フィールド競技〕

- 1 競技開始前
競技紹介（ピット名, 競技No., 性別, 種目をアナウンスする）
- 2 競技中
 - (1) 競技ルールを紹介
 - (2) 途中経過を紹介
- 3 競技後
競技結果の伝達（競技No., 性別, 種目）

【8 大型映像係】

1 任 務

- (1) 大型映像係は、大型映像装置への表示作業を行う。また、競技の様子を映像に映し出す。
- (2) 競技種目名(タイトル)を表示して、次に行われる競技の紹介をする。
 - ① トラック競技
 - (ア) 競技者係によって確認されたそのレースの出場者(スタートリスト)を進行表に従い、進行総務員の指示で表示する。なお、リレーにおいては、各チームのオーダーも表示する。

- (イ)レース終了後、写真判定員が入力した競技結果(リザルト)を、進行表に従い進行総務員の指示で表示する。
- ② フィールド競技
 - (ア)競技者係によって確認された出場者(スタートリスト)を、進行表に従い、進行総務員の指示で表示する。
 - (イ)競技終了後、フィールド審判長が入力した競技結果(リザルト)を、進行総務員の指示で表示する。
- (3) 定時気象情報(グラウンドコンディション)を表示する。
- (4) 長距離種目におけるスプリットタイム・ラップタイムについては、可能であれば 800m 以上のレースで表示する。
- (5) 視覚障がい者の音を頼りにする競技(50m 走・跳躍・投てき)では、観客に対し静かにしてくれるよう協力を促す表示を行う。

2 任務分担

- (1) 主任
 - ①大型映像作業の確認
 - ②進行総務員や他の係役員との連絡・調整
 - ③競技者紹介、競技結果、競技途中経過、表彰等の大型映像装置への最終出力の確認
- (2) 副主任
 - ①大型映像作業の確認及び主任の補佐
 - ②競技映像を中心にカメラ位置の確認とモニター画面の切り替えの確認
- (3) 係員
 - ①スタートリスト、リザルトの確認及びその送信・消去の作業
 - ②必要に応じてタイトル等の作成

3 留意点

- (1) 出場競技者(スタートリスト)の紹介
 - ① トラック競技においては進行表に従い、原則として競技開始 2 分前にタイトル画面とスタートリストを表示する。スタートする前に競技映像に切り替える。
 - (ア)リレー競技については、チーム表示後オーダーも表示する。
 - (イ)長距離種目については、スタート後にスタートリストを表示する場合がある。
 - ② フィールド競技については、競技開始からスタートリストを表示する。
- (2) 成績記録の発表
- (3) トラック競技は、レース終了後、進行表に従い 1 分以内に進行総務員の指示でリザルトを表示する。
- (4) フィールド競技は、審判長が確認した結果を、進行表に従い、原則として 10 分以内に進行係主任の指示でリザルトを表示する。

【9 報道係】

1 任 務

- (1) 競技場内における報道 ID を首からかけた報道員の管理を行う。
- (2) 報道関係者で競技者にインタビューを求める者に対して、表彰終了後にインタビューエリアにおいて、その便宜を図る。

2 留意点

- (1) 取材許可を得た関係者は指定の報道 ID 又は自社腕章を付け、許可場所のみ立ち入ることができる旨を伝える。
- (2) 記者・カメラマンの競技場内における取材、撮影等にあたっては立入区域の周知徹底を図り、許可した者のみ入場を認め、報道ビブスを着用させる。特に立入禁止区域への進入、撮影禁止を徹底する。※取材可能エリアを提供します。
- (3) 記者・カメラマンの立入人数などを把握する。
- (4) 立入可能区域であっても、競技役員の指示に従うよう取材者に周知する。

【10 記録・情報処理員（含印刷係）】

1 任 務

- (1) 記録全般の業務を行う。
- (2) 番組の組数・障害区分・年齢区分及び、選手の欠場・棄権を十分把握し、区分ごとに記録、順位の処理が行われているかを確認する。
- (3) 写真判定から転送された着順・記録を確認し、審判長の審議を終えた後に記録確定する。
- (4) その他、リザルトが必要な部署があれば、印刷して配付する。
- (5) スタートリスト・種目登録などの競技前処理を行い、大会記録のチェックや失格などの確認を迅速に行い、必要な帳簿を出力する。
- (6) 総務員、各審判長、競技者係、写真判定員、跳躍審判員、投てき審判員等とともに記録の入力・確認を速やかに行う。
- (7) 情報処理器の設置・管理を行う。

① トラック種目（ホームストレート・バックストレート）

種目ごとに競技計測オンラインシステムで速報記録を作成する。

オンラインシステムで風力等、必要事項を入力する。視覚障がいレースの風速は、個別入力をする。

② フィールド種目

試技ごとに競技計測オンラインシステムで速報記録を作成する。

オンラインシステムで風力等、必要事項を入力する。

《参考：県実施本部員の業務》

- 1 陸上競技リザルトシステムで処理されたデータを県の実行委員会からUSBメモリーで受け取り、競技運営支援システム（障害者独自のシステム）に取り込む。
- 2 競技運営支援システムから打ち出された記録が、リザルトシステムから打ち出された競技記録と誤りがないことを確認する。

2 留意点

- (1) 記録の確認を行う。記録の訂正が発生した場合は、速やかに各送付先及び記録速報係（県実施本部員）に連絡する。
- (2) 大型映像装置への表示をもって公式記録発表とする。このため、表示時刻を記録しておくこと。
- (3) 記録の発表は記録の確定順に行う。
- (4) 全員欠場（特に1人出場の種目）の場合は、欠場処理は現地で実施（競技終了時点で判明するので、その時点で完了処理を行う）する。（競技が終了せずに、そのままの状態になる）
- (5) リザルト配布場所と配布部数は下表のとおりとする。

配 布 場 所	部数	配布対象
陸上競技本部	0	総務・審判長 ※タブレット利用
情報処理室	1	実施本部
表彰者待機所	1	※印刷スプーラー
競技終了者待機所	2	発表用1，表彰者待機所持参用1， ※印刷スプーラー

《補助員の業務》

- 1 リザルトが必要な部署に、配付する。
- 2 リザルト等、印刷物を整理保管する。

【11 マーシャル】

1 任 務

- (1) 場内における完全な統制権を持ち、総務と協力して競技者（選手、伴走者・介助者を含む）、競技役員、補助員及び許可された範囲で報道関係者等（ID着用者）以外の競技場内への入場規制を行う。
- (2) 競技場内における役員、競技者及び報道関係者の危険防止に万全の注意を払う。
- (3) トラック競技でフィニッシュした選手を安全に、ミックスゾーンに誘導できる状態で誘導員に引き渡す。
- (4) GATE1（主任）・GATE2・GATE3・GATE4 前と A ゾーン、B ゾーンにそれぞれ位置し、選手、伴走者・介助者、報道関係者、観客の統制にあたる。
- (5) トラック種目のスタートの際には、スタート付近で補助員が『お静かに』と書かれたプラカードをスタンドに向けて掲げ、マーシャルが「静かにお願いします」と声掛けをして、スターターや選手の集中を妨げないようにする。音源走の際には、スタート付近に加えて中央付近、フィニッシュ・解散所1付近でも『お静かに』のプラカードをスタンドに向けて掲げ、観衆の協力を得る。
- (6) 多種目出場者を、競技場所あるいは招集所まで誘導し、競技役員へ引き継ぐ。

2 留意点

- (1) 任務中は決められたビブス（黄色）を装着して行動する。
- (2) 競技関係者、視察員及び競技者への対応は、ホスト役としての自覚を持って親切丁寧に対応する。
- (3) 競技場内には、競技者、大会役員、競技役員、競技補助員、情報支援ボランティア、実施本部員及びあらかじめ許可された介助者、伴走者、報道関係者及び視察員等関係者以外立ち入ることができない。競技場内の秩序が乱れることのないように、見極めたうえで統制ある行動をする。
- (4) フィールド内の立入り（トラックの横断）時には必ず立ち合い、危険のないように的確に指示する。
- (5) 競技終了者の誘導は競技者誘導補助員が行うので、導線の指定などの指示を的確に行う。
- (6) 視覚障がい者の競技の時はプラカード等を用い、静かにするよう場内に注意を呼びかける。

《補助員の業務》

- ・種目実施時にはスタート付近で「お静かに」のプラカードをスタンドに向けて保持する。視覚障がい種目（障害区分 24、25）でも同様に「お静かに」のプラカードをスタンドに向けて保持する。
- ・視覚 50mでは、スタート付近に加え中央付近、フィニッシュ付近でも『お静かに』のプラカードをスタンドに向けて掲げ、観衆の協力を得る。
- ・走り高跳び・投擲競技については、スタンドから離れていることもあり「お静かに」のプラカードは不要である。

《視覚障がい者の音源》

- | | |
|------------|---|
| ・視覚 50m走 | …音源使用のみ |
| ・走り幅跳び | …音源使用（コーラーによる）、手拍子、声、音源（ホイッスル等）
（介護者による） |
| ・砲丸投げ | …音源使用（コーラーによる）、手拍子、声、音源（ホイッスル等） |
| ・ソフトボール投げ | …音源使用（コーラーによる）、手拍子、声、音源（ホイッスル等） |
| ・ジャベリックスロー | …音源使用（コーラーによる）、手拍子、声、音源（ホイッスル等） |

【12 競技者係】

1 任 務

- (1) プログラムに定められた競技者の出場の有無、及び競技に必要な準備の可否を点検し、出場者の招集終了後、補助員に競技地点への誘導を指示する。
- (2) 各種目の招集業務を行い、招集時間内に規定の諸事項が満たされない者は出場を許可しない。

- (3) トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバーカードを渡し、腰に付けさせる。ただし、車いす競技者は競走姿勢をとってもらい、その状態で地面と平行になるように、ヘルメット（５０mの競技者は肩）の見やすい位置に付ける。
- (4) 大会要項・競技運営上の注意事項を確認して、競技会参加者に対応する。
- (5) 競技時刻に合わせて、所定時間内に招集を実施する。
- (6) 車いす使用者については、車いす検査を実施しているかどうかを確認する。
- (7) 招集終了後、ロールコールを行い、招集完了する。
(必要な部署にはスタートリストをプリントアウトして配付する。)

※実施本部員の業務

(1) 介助・伴走許可について

- ① 競技場内で選手に同伴する介助者（プログラムの特記事項に「介」の記載がある者及び、当日介助許可証申請所受付で交付された「介助ビブス引換券」持参者）に「介助ビブス」を配付し、着用させる。
- ② 視覚障がいのある選手に伴走する者（プログラムの特記事項に「伴」の記載がある者）に「伴走ビブス」を配付し、着用させる。

2 留意点

- (1) 競技会に不慣れな競技者が多く、混乱が予測されるので、親切丁寧に招集業務にあたる。
招集所では競技役員の他に、実施本部員、情報支援ボランティア、競技者誘導補助員が活動しているので、お互いに協力して運営にあたる。
(聴覚障がい者選手の招集時は、情報支援ボランティアのために必要となるので声をかける)
- (2) 招集所への競技者の入場規制、誘導を行う。招集所は混み合うことから、運営ボランティアと連携を図り、競技者の掌握や招集所内に入れる業務を行う。
- (3) 招集所内では、招集する組毎に選手を整列させ、必要項目の確認点検を行う。
- (4) 招集所での競技者誘導係補助員は、各組に対して２人が担当する。流れは次の通りなので、流れをつかみ審判主導で業務を行う。

- 1 招集所（第３ゲート付近）で、補助員１～２人が「種目プラカード」を胸前に掲げて待機している。
- 2 補助員は集まってきた競技者を招集所内へ誘導する。
(招集所前のホワイトボードに招集開始を行う種目名を記載した紙が貼ってある)
- 3 どの競技に出場するのかをアスリートビブスを見て、あるいは直接聞いて、該当の「種目プラカード」を持っている補助員のところに誘導、あるいは向かわせる。

- (5) 許可を受けた介助者・伴走者は招集所内に入場できる。
- (6) 競技開始予定時刻３０分前から招集を開始し、競技開始２０分前で招集を完了する。
- (7) 腰ナンバーカードは視覚障害者の５０m走、スラロームを除く全てのトラック競技において付ける。車いす競技者は競走姿勢をとってもらい、その状態で地面と平行になるように、ヘルメット（５０mの競技者は肩）の見やすい位置に付ける。

- (8) 100m以上の競走種目に出場する車いす使用選手のヘルメット着用を確認する。
- (9) 障がい種別によるアスリートビブスの色分けは下表のとおり。
- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 肢体不自由 | … 白 | 視覚障害 | … 薄緑 |
| 聴覚障害 | … 黄 | 知的障害 | … 桃 |
| 内部障害 | … 水色 | 精神障害 | … 薄茶 |
- (10) 最終点呼は必要に応じてハンドマイクで行う。聴覚障がい者については、情報支援ボランティアと連携して案内の徹底を図る。
- (11) 最終点呼時の確認内容は次のとおりとする。
- ① アスリートビブス等は正しく付けられているか。
(車いすのアスリートビブス等は見やすい位置に取り付けられているか。)
 - ② スパイクシューズのピンの長さ、種類、本数、靴底が規定通りか。
 - ③ 車いすの検査済み証の有無。車いす検査済証(シール)に記載された競技No.と、出場する競技No.が合致しているか確認を行う。
 - ④ ユニフォーム、持ち物の商標検査。
 - ⑤ 介助者や伴走者が必要な場合の許可証(ビブス)が交付されているか。
 - ⑥ カメラ、ビデオ、携帯電話等の持ち込み検査。(介助者、伴走車等を含む)
 - ⑦ 視覚障がい者(障害区分 24)のアイマスク等光を通さないもの及び(障害区分 24・25)の伴走者の紐は非伸縮性の50cm以内などについて確認する。
- (12) 点呼が終了したら補助員に誘導開始の指示を出す。
- (13) 2種目同時届は、スタートリストに添付する。

2種目同時出場選手について

2種目同時出場で、2種目目の招集完了時間まで時間的余裕のない選手が出て、表彰も絡むと間に合わない場合があるので、当該選手には次のように対応する。

- (1) 1種目招集時に「2種目同時出場届」を提出するので、競技者係でチェックを行う。
- (2) その上で該当選手については、(入賞した選手であっても)表彰に向かわずに2種目目の現地(スタート地点)または招集所へマーシャルが誘導する。
(入賞者は、競技終了後にメダルを受領する)
- (3) 2種目目がすでに終わっている場合があるが、各競技は時間通りに行い、競技者を待たない。
 - ※ この旨を該当の選手に「2種目同時出場届」提出時に伝える。
 - ※ 競技者誘導係または競技者誘導係補助員が誘導する。
 - ※ 選手団連絡事項の注意事項参照のこと。

《補助員の業務》

担当する競技者グループの場所に位置し、招集時は審判の指示を受けて競技者の確認を行う。

【13 ミックスゾーン係】

1 任 務

- (1) ミックスゾーンにおける競技者、報道関係者の管理をする。
- (2) 競技終了者を誘導し競技者終了待機場所に案内する。
- (3) 競技終了者の衣服を渡す。

2 留意点

- (1) マーシャルより誘導された競技終了者をミックスゾーンで確実に引き継ぐ。
- (2) 競技終了者の待機場所への誘導は、入賞者管理係と協力して行う。
- (3) 衣服運搬係と協力して競技終了者の衣服受け取りを行う。

【14 入賞者管理係】

全ての種目の選手が競技を終えたあと、ミックスゾーン補助員によって誘導されてくる。

- ◇ 記録と順位の発表を行う。
- ◇ 記録配布担当の補助員が運搬する。

1 任 務

- (1) 競技終了者待機場所に着いた競技者グループが揃っているか確認・着席させ到着時刻を記録する。その際に競技者それぞれの荷物受け取りも確認する。
- (2) 記録室からプリンターに届いた記録結果表（3枚）を受けとり、不備がないか確認して、各係へ配布する。（入賞者管理係1、入賞者受付1、表彰者係1）
- (3) 記録結果発表後に、入賞者確認表（3枚）とアナウンス原稿（2枚）がプリンターに届くので、それを入賞者受付に配布する。
- (4) 表彰組毎に記録の発表を行い、順位カードを着用させる。
（障害区分、部別、性別ごとに1～3位までが表彰対象となる。）
- (5) 入賞者以外は、競技終了者解散所まで誘導し、解散させる。
- (6) 競技者係からのプラカードは、入賞者が入賞者受付に移動を始めたら競技者係へ返却する。
（5枚程度まとめて返却）

2 留意点

- (1) 競技者の到着、順位カードの着用、必要に応じて情報支援ボランティアが揃ったのを確認し、準備を完了する。
- (2) 入賞者以外の選手は、競技者解散所まで誘導し、付添いに引き渡す。その際、介助用のビブスは回収箱へ返却する。
- (3) 入賞者を入賞者受付・待機所に誘導する際は、競技終了者待機所に準備してある表彰用プラカード（補助員）を先頭に、入賞者管理係・ボランティアの各1名が誘導する。
- (4) 聴覚障がい者の競技組に対しては、ミックスゾーン内の一角を優先して利用するための場所を確保する。車いすの競技者は、ベンチがない方に案内する。

(5) 競技終了者待機所に選手が滞留しないように、手際よく発表を行う。

(6) 記録・順位発表は次の要領で行う。

- 1 種目No., 種目の発表をします。
 - 2 1位 青森太郎さん ○○市 記録○秒○, 以下同じように出場全選手分
 - 3 ≪入賞者は「入賞者係」に引き継ぐ≫
入賞以外の競技者は解散所に誘導します。(というニュアンスの内容を話す。)
 - 4 では準備ができたので移動します。

以上を整然と行う。

(7) 聴覚障がい者への通訳のために情報支援ボランティアが帯同しているので、連携を取りながら業務にあたる。

(8) トラブル発生などで、記録順位発表まで時間がかかる場合、発表順が大きく変わる場合などは競技者及び関係者に説明をする必要がある。(記録室と連携し、情報共有を図る。)

(9) ミックスゾーン係・実施本部員と連携を取りながら業務にあたる。

(10) レーサー車いすを使用していた選手に関しては、競技終了者待機所にて常用車いすへの乗り換えを行う。

※入賞者のレーサー車いすについては、入賞者管理係補助員かボランティアが移動を行う。

*実施本部員の業務

- (1) ミックスゾーン係によって競技修了者待機所に誘導された選手を出迎え、誘導する。
- (2) 競技修了者待機所に着いたグループの、種目・種目Noと到着時刻を確認する。
- (3) 競技終了者待機所に着いた競技者を、グループごとに座らせる。
- (4) 競技役員が表彰組ごとに記録の発表を行い、本部員が順位カードを着用させる。

【15 役員係】

1 任 務

- (1) 競技役員・補助員の受付及び出欠状況を把握する。
- (2) 必要物品の把握(ADカード・弁当引換券・識別服飾、競技運営マニュアル)※各人の初日のみ、2日目以降は弁当引換券のみ。
- (3) 庶務係と協力をして、旅費に係る用紙にサインをもらう。
- (4) 配布物の予備をまとめて準備をしておく。
- (5) 審判手帳用シールを、各主任へ配布する。

2 留意点

- (1) 競技役員の出欠確認は、個々に行う。事前に欠席連絡は、関係部署に確認する。
- (2) 競技役員の服装を確認。(識別服飾、審判服、帽子)
- (3) 会場図の把握。競技役員の導線についても確認する。
- (4) 旅費は振り込みとなるので、サイン用紙は庶務へ渡す。
- (5) 他県からの協力審判員へは、ADカード・ケースを配付。

3 準備品

- (1) 書類等：役員受付一覧 旅費受領一覧
- (2) 配付物：識別服飾，A Dカード・ケース，弁当引換券
- (3) 予備品：プログラム，競技運営マニュアル（若干，印刷物として準備）
- (4) 物品類：筆記用具

【16 来賓・視察員係】

1 任 務

- (1) 受 付 日本障がい者スポーツ協会技術指導員，陸上競技協会関係の来賓及び後催県陸上競技協会等の視察者。
- (2) 弁当引換券配付 日本障がい者スポーツ協会派遣 技術指導員 3名
- (3) 資 料 等 配 付 後催県陸上競技協会関係者へ

【17 庶務係】

1 任 務

- (1) 総務，総務員（庶務担当）の指示の下に大会運営の総務業務，事務業務，接客業務，
- (2) 物品・消耗品の管理。
- (3) 交通費に係るサイン用紙の準備。役員係と連携し，必要に応じて訂正をする。
- (4) どの部署にも属さない業務の処理。
- (5) 競技運営に必要な物品・消耗品の準備。
- (6) 大会関係者への案内対応。
 - ①競技に関する選手・役員からの申し出。⇒T I Cへ案内。
 - ②一般的な申し出⇒県の総合案内所へ案内。

2 留意点

- (1) 各係に属さない業務を担当し，速やかに処理する。
- (2) 大会関係者への円滑な対応をする。
- (3) 大会関係者が快適に過ごせるよう，環境美化・衛生に努める。
- (4) 苦情などあった場合は必ず総務員や県担当者に連絡し対応する。

【18 T I C】

1 任 務

競技者案内所（T I C）に常駐し、選手・監督への情報案内や各種届出の受付業務、および競技に関する質問・抗議の受付などに対応する。

- (1) プログラム訂正
- (2) 招集所での預かり物保管と返却
- (3) 練習会場の場所と時間の案内
- (4) 各種届出用紙の配布と受付
 - ①欠場届 ②リレーオーダー用紙・リレーオーダー変更届 ③2 種目同時出場届
 - ④上訴申立書・抗議(口頭) ⑤介助許可証交付当日申請書
- (5) 欠場届とリレーオーダーの入力
- (6) アスリートビブス、A Dカード紛失時の対応
- (7) 介助・伴走許可証の交付と回収
介助・伴走許可証交付所係（県担当者）が行う。
ただし、当日の申請については、T I Cで申請書の配付および承認を行い、交付所係へ提出するよう案内をする。
- (8) 抗議に関する質問、抗議申し立て、上訴申立書の受付と対応
- (9) リレーオーダー用紙、欠場届の情報処理を行う。

2 留意点

質問・抗議等には、冷静な態度で対応し、速やかに総務員（抗議担当）と担当部署に連絡を取り、案内する。

【19 補助員係】

1 任 務

各部署の必要補助員数を把握・調整し、補助員を振り分けて次の補助業務を円滑に行う。

- (1) 補助員全体を統括し、各分担を明確にして補助員が安全かつスムーズに活動できるように計画・指示する。
- (2) 補助員が集合した段階で、留意事項の確認などを行う。特にスマホの使用や応援などのマナーについて注意をする。
- (3) 補助員を指揮して、きめ細かい運用に努める。

2 留意点

- (1) 補助員の出席状況を確認し、担当部署に配置し任務に就かせる。必要な場合は補充措置を行う。
- (2) 補助員の健康管理・事故防止に留意する。
- (3) 補助員控所の管理を行う。

【20 式典・表彰係（含入賞者管理係）】

《入賞者係》

- (1) 入賞者受付は、入賞者管理係から配布された入賞者確認表（3 枚）を使って、入賞者の順位・選手名（漢字の間違いが無いかの確認）・選手番号・所属：記録を読み上げて本人確認をする。確認後、すべての確認表とアナウンス原稿（2 枚）も同じく確認する。
- (2) 確認した入賞者確認表（3 枚）は、入賞者受付 1・未受領者受付 1・控え：入賞者受付へ、アナウンス原稿 2 枚は、メダル準備 1・アナウンス 1 へ配布する
- (3) 入賞者を表彰組ごとに座席に着席させる。表彰用プラカードは、グループを明示するために所定の位置に掲示する。
- (4) 入賞者が着席したら、メダルケースを渡す。
- (5) 入賞者の体調やトイレ等の要費を確認したうえで、表彰エリアへの進み方を説明する。
（必要に応じて、情報支援ボランティアに通訳をしてもらう）
- (6) 授与者（プレゼンター）、入賞者、表彰アナウンサー、選手誘導（表彰プラカード）、メダル担当（お盆）の準備が整ったら、表彰アナウンサー・音響とタイミングをあわせて表彰式を開始させる。
- (7) 表彰後、入賞者を競技者解散所まで誘導し、付添い者に引き渡し解散とする。その際、介助用ビブス等は回収箱に返却させる。

2 留意点

- (1) ミックスゾーン係、表彰者管理係と連携を取り、選手が滞留しないようにスムーズに誘導する。表彰者待機所が渋滞している場合は、ミックスゾーンに留めて調整を行う。
- (2) 表彰者待機所への移動は、移動中の様々な事態を想定して、十分な人数で誘導にあたる。
- (3) 表彰の要領を確認する。
 - ① 表彰エリア前に、整列する。
 - ② 種目プラカード係は、入賞者を 2 位・1 位・3 位の順に表彰エリアの順位ボックス前に誘導する。誘導後は、表彰ボックスの後ろに移動する。
 - ③ 続けて、プレゼンター・メダル担当・賞状担当の順に入賞者に対面する位置に進む。
 - ④ 表彰エリアに全員が成立したら、表彰アナウンサーの進行に従い、プレゼンターがメダルを授与する。
 - ⑤ 写真撮影の時間は約 20 秒とし、経過したら速やかに退場を促す。
- (4) 表彰式が終わったら、入賞者を競技者解散所まで誘導し、コーチや付添い者に引き渡す。
その際、忘れ物がないか確認する。また、介助用等のビブスは回収箱へ返却させる。
- (5) 表彰用プラカードは、当該種目の表彰式が済んだら、まとめてケースに収納する。

* 実施本部員の業務

- (1) 入賞者管理係から入賞者受付に配布された入賞者確認票（3 枚）を使って、入賞者の順位、選手名（漢字があっているのかも確認）、選手番号、所属、記録を読み上げて本人に確認

する。確認後、すべての確認票とアナウンス原稿（2 枚）にも同じくチェックする。

未受領者の個人票も記入する。

- (2) チェックをした、入賞者確認票 3 枚は、((1)入賞者係、④未受領者受付、⑤控え：入賞者受付) へ。アナウンス原稿 2 枚は、(①メダル準備、②アナウンス) へ配布する。

未受領者の個人票も記入し、メダル準備へ配布する。

《表彰準備係》

1 任 務

- (1) 競技結果(リザルト)が確定次第、入賞者管理係から配布された競技結果用紙を使って、入賞者受付、表彰式の準備に入る。

- (2) 授与者(プレゼンター)のスケジュールを確認して、依頼・説明(表彰式の要領)を行う。

＊プレゼンターが変わるときは、その旨を「表彰アナウンサー」に伝える。

- (3) 複数種目の出場などが理由で表彰式に参加できない入賞者のために、未受領者受付を設置する。受け取りの際は、簡易な表彰式を行う。(県実施本部で担当し、2 種目同時出場届にて確認する)

未受領者のメダルは、入賞者受付で記入された未受領者の個人票を利用し、渡し忘れないようにに保管する。

- (4) メダル等の授与物の準備を行い、整い次第、入賞者係へ連絡する。

2 留意点

- (1) 表彰式は、原則として、競技進行の状況を問わず順次実施する。

- (2) 表彰式の要領を確認する。

- ① 表彰エリア前に整列する。

- ② 種目プラカード係は、入賞者を 2 位・1 位・3 位の順に表彰エリアの順位ボックス前に誘導する。誘導後は表彰の後ろに移動する。

- ③ 続けて、プレゼンター、メダル担当、賞状担当の順に入賞者に対面する位置に進む。

- ④ 表彰エリアに全員が整列したら、表彰アナウンサーの進行に従い、プレゼンターがメダル等を授与する。

- ⑤ 写真撮影の時間は約 20 秒とし、経過したら速やかに退場を促す。

* 実施本部員の業務

★入賞者受付、授与物の準備、未受領者受付、プレゼンターへの依頼・連絡等を行う。

- (1) 授与者(陸協以外)のスケジュールを確認して、依頼・控室からの誘導・説明(表彰式の要領)を行う。

- (2) メダル等の授与物の準備を行い、整い次第、表彰係へ連絡する。

- (3) 複数種目などが理由で、表彰式に参加できない入賞者 n ために、未受領者受付を設置し、メダル等の渡し忘れないように保管する。

《式典係》

1 任 務

- (1) 入賞者係から合図が出たら、BGMを流し始め、表彰アナウンサーの進行により、表彰式を実施する。
- (2) 表彰式の要領
 - ① 誘導係が種目プラカードをもって入賞者の前を歩き、2位・1位・3位の順に表彰エリアの順位ボックス前に誘導する。
 - ② 続けて、プレゼンター、メダル担当の順に入賞者に対面する位置に進む。
 - ③ 表彰エリアに全員が整列したら、表彰アナウンサーの進行に従い、プレゼンターがメダル等を授与する。
 - ④ 写真撮影の時間を定め(約20秒)とし、経過したら速やかに誘導係が退場を促す。

2 留意点

- (1) 実施中の競技等に配慮して、BGMやマイクの音量を調整する。原則として、表彰エリア内に聞こえる程度とする。特に、視覚障がい者の競技の際は留意する。
- (2) 表彰アナウンサーは、聴覚障がい者への通訳のために情報支援ボランティアが待機しているので、連携を取りながら業務にあたる。
- (3) 表彰アナウンサーは、入賞者受付から配られたアナウンス原稿をもとに、表彰原稿を作成する。
- (4) 表彰アナウンス内容は次のとおりとする

- 1) 種目No. (種目名) の表彰です。
 - 2) プレゼンターは〇〇〇〇 (所属・役職) です。→プレゼンターが代わった時のみ
 - 3) 第1位 (氏名) さん (所属等), 記録 (タイム) は〇〇。
第2位 (…以下、同じ要領で3位までアナウンスする。)
※1位のみ、1位と2位の場合もある。
 - 4) 以上で表彰を終わります。おめでとうございます。
- (5) メダル担当は、表彰盆が空になったら退場する。
- (6) 誘導係 (表彰プラカード) は、写真撮影後、入賞者を入賞待機所まで誘導する。

【2 1 公式計測員】

1 任 務

- (1) 競技会が開始されるまでに、競技種目に基づき、競技場及びその付属施設の異常の有無を確認し、その結果を技術総務と審判長に報告する。
- (2) 点検の任務終了後は、技術総務の仕事の一部を担当する。
- (3) 公式用器具の検査と準備 (日本陸連及び日本パラスポーツ協会の規定した規格に合致した物に限る)

- (4) 関係競技役員、風力計測員、練習会場係及び車いす検査係の役割分担を明確にして、正しい設営と運営が円滑に行えるよう協力・指揮する。

2 留意点

- (1) 競技会全般について観察し、必要に応じて審判長と協議し競技会の円滑な進行を図る。
- (2) 施設、用器具が定位置に配備されているかを点検確認して担当競技役員に説明する。
- (3) 雨天、荒天時等においては、その状況を技術総務、審判長に報告し適切な処置をする。
- (4) スラロームにおいては、テープを使ってスタートライン、旗門位置の表示、また50m種目時はスタートラインの表示を行う。

【2.2 風力計測員】

1 任 務

- (1) 関係競技種目の風向・風速(風力)を測定・記録し、オンラインシステムにより関係部署に報告する。
- (2) 定時に競技中の総合気象状況を観測し、その結果に署名後、情報処理員に報告する。

2 留意点

【共 通】

- (1) 主任は競技開始30分前に観測、計測器等の設置を終え、各計器が正常に作動するか確認する。
- (2) 計測器の作動チェックは、並列作動で正確度のすり合わせをする。
- (3) デジタル式の風力計の場合は、追い風(+)、向かい風(-)の方向に注意する。
- (4) 風力計測員は競技開始10分前までに測定位置につき、記録用紙等すべての準備を完了させ、計測器類が正常に作動するかどうかを点検確認する。
- (5) 各競技が開始される直前に、再度計測器の作動確認を必ず行うこと。
- (6) 計測競技種目と計測時間は、「3 測定時間」どおりとする。
- (7) 風向・風力を測定する。
- (8) 記録員は、測定結果を所定の用紙に記録する。その際、記録を必ず復唱し用紙に記入する。復唱は正しく明瞭に。

【トラック競技】

- (1) スタート準備が完了したら、トラック審判長・監察主任に準備完了の合図を送る。
- (2) トラック競技の表示後レース確定の場合：フィニッシュタイマーと連動して風力表示も消去される。(スタートやり直しの場合は、計測停止ボタンを押す。)
- (3) 当日の関係競技終了後、測定結果をまとめた「トラック競技風向・風速記録用紙」を記録員に提出する。

【フィールド競技】

- (1) 練習跳躍時に必ず測定とデータ転送の動作確認を行う。
- (2) 該当競技終了後、「フィールド競技風向・風速記録用紙」に署名した後、跳躍審判員記録担当者に提出する。

【気象観測】

- (1) 定期気象状況の観測は、競技開始時と正時に行う。
- (2) 気象条件については、天候・気温・湿度・風向・風速を計測する。
- (3) 天候は、屋外での状況を観測、気温・湿度は温湿計で、風向・風速は定時観測用風向・風速計のモニターに表示される値を記録する。
- (4) 観測結果は、「提示観測連絡票」に記載し、その都度情報処理室に提出するとともに、「グラウンドコンディション記録表」に記載する。
- (5) 全ての観測が終了次第、当日の「グラウンドコンディション記録表」を情報処理員に報告する。

3 観測器・計測器等の設置方法

- (1) トラック競技
 - ① 風向風速計は、直走路の第1レーンに隣接して、フィニッシュラインから50mの地点で、第1レーンから2m以内に設置する。設置する高さは、地上から1m22cmとする。
 - ② 吹流しは、トラック用風向風速計と定時気象観測用風向風速計のほぼ中間に設置する。（100mH6台目ー0.6m付近を目安とする。）
 - ③ 50m競走の風向き風速計はスタートから25m地点への設置を原則とするが、機器の都合上、これによらない場合はスタート地点で計測する。
 - ④ 200mの場合、第4コーナー直走路に入る位置のトラック内側に、マーカー（計測開始位置）をレース前に設置し、終了後撤去する。
 - ⑤ 操作器及び測定・記録員の位置は、フィニッシュライン付近のスタンド下とする。
- (2) フィールド競技
 - ① 計測器は踏切板から20mの地点、助走路から2m以内の地点に設置、高さは1m22cmとする。
 - ② 操作器及び測定記録員の位置は、助走路に面した付近のスタンド下とする。
 - ③ 計測開始位置を示すマーカーを設置する。（走幅跳：踏切板から40m）
 - ④ 吹流しは、踏切板と計測開始位置の間で適切な位置に1つ以上設置する。
- (3) 定時観測用機器
 - ① 定時観測用風向・風速計の設置場所は、競技場中央部ホームストレート側で、第1レーンから2m以内に設置する。また、高さは1m22cmを基準とする。
 - ② 定時観測用風向・風速計のモニターは、フィールド競技操作器の横に設置する。
 - ③ 乾湿計は、ホームストレート中央付近スタンド下の、日陰部地上から1m50cmの高さに設置し、観測する。
 - ④ 吹き流しは、トラック競技風力計と定時気象観測風向・風力計のほぼ中間点（100mH6台目ー0.6m付近）に設置する。この吹き流しは、全ての競技終了まで設置しておく。

4 測定時間

(1) トラック競技

- | | | | |
|---|------|------|---------------------------|
| ① | 50m | 5秒間 | ピストルの閃光から計測（スターターの動作を注視） |
| ② | 100m | 10秒間 | ピストルの閃光から計測（スターターの動作を注視） |
| ③ | 200m | 10秒間 | 先頭走者が直走路に入ってから計測（マーカーを置く） |

(2) フィールド競技

- | | | | |
|---|-----|-----|---|
| ① | 走幅跳 | 5秒間 | 踏切板から40mの通過点から計測
ただし、40mの助走距離をとらない競技者は助走開始から計測 |
|---|-----|-----|---|

5 要人員

- (1) 気象観測：1人/1組
- (2) トラック競技：2人/1組
- (3) フィールド競技：2人/1組（2ピット使用は2組/4人要）

【2.3 衣類運搬係】

1 任務

出発係と連携をとりながら、競技者の衣類等を確実にGATE1のミックスゾーンまで運搬車等によって運搬し、トラック競技を円滑に進める任務を行う。また、選手待機用の長椅子の設置、数の管理等を行う。

2 編成と分担

(1) 主任

- ①班員、補助員を掌握し、実施計画通り任務が遂行されるように指導にあたる。
- ②競技開始までに役員・補助員の出欠を把握し、任務分担と注意事項を伝達する。

(2) 班員

補助員を掌握し、適切な任務の指示を行う。必要道具の配置、衣類用のビニール袋を選手が待機する長椅子に並べていく。

(3) 補助員

審判員指導の下に、衣類の回収及び運搬を行う。

補助員はメンバーを交代しても任務が遂行できるよう連絡体制をつくる

3 任務内容

(1) スタート直前までの衣類管理

- ①衣類用ビニール袋を各ゲート選手待機用の長椅子に並べる。選手に衣類を入れてもらう。靴や飲み物、クーラーボックス等もすべて袋の中に入れるよう伝える。
- ②選手全員の衣類袋がそろったらそのつど、衣類袋を運搬車へ積み込む。
- ③競技者係からプラカードを預かり、荷物と一緒にミックスゾーンまで運ぶ。

(2) ミックスゾーンまでの衣類運搬

各種目の現地コール場所（G A T E 1 ～ 4）で補助員は衣類を運搬車に積み、ミックスゾーンまで運ぶ。

※ スラロームなどの特殊種目で、スタート位置がG A T E下ではない場合、スタート地点からミックスゾーンまで運ぶ。

※ 補助員が運搬車で運ぶ。

※ 運搬経路（動線）は状況を見て調整する。

※ 4 × 1 0 0 m Rの場合、選手全員の衣類を、1 走・G A T E 1、2 走・G A T E 2、3 走・G A T E 3、4 走・G A T E 4から運搬車にのせ、ミックスゾーンまで運ぶ。

※ 5 0 m走の場合は、トラック内ホームストレートを通り、運搬車で運ぶ。

(3) ミックスゾーンでの衣類管理

① 運搬車から衣類袋をもらい、組・レースごとに指定の位置に置く。

② 競技者が荷物を間違わないように種目ごとにプラカードで掲示し、荷物を管理する。

4 任務の流れと留意点

(1) 競技開始

主任及び副主任が衣類運搬を実施する各種目の詳細な流れについて、実施計画のもとに確認を行う。

(2) 競技開始 1 5 分前

担当役員、補助員は現地に集合する。主任は任務の確認をし、必要用具の確認を行う。選手待機用の長椅子に該当種目の衣類袋を置いていく（組・レーンの記載されたシールを貼ったもの）。

(3) 競技開始直前

選手全員の衣類袋がそろったら、補助員は衣類袋を運搬車に積み、ミックスゾーンまで運ぶ。

【2 4 練習会場係】

1 任 務

(1) 競技に臨む競技者が、十分な練習ができるよう施設・用器具等の準備、整理並びに練習者の安全管理にあたる。（用器具、マーシャル、跳躍、投擲と連携）

(2) レーンの仕切り（3レーン、6レーン、8レーン外側）にコーン、バー設置

(3) スラロームのセット（指定のピットを使用 旗門の幅は1.27mとする）

(4) 貸出用競技用具（砲丸、ソフトボール、ターボジャブ、ビーンバッグ）を競技用具貸出簿に記入し貸出する。

(5) 競技者係等と連携をとり、競技者が招集時間に遅れないように配慮する。

2 留意点

(1) ランニングは、フィールド内の芝生を利用する。

- (2) 競技者が、補助競技場及び投てき練習場で十分な練習ができるように、施設用器具の準備及び整備をし、必要に応じて貸し出しすると同時に練習場の安全管理に努める。
- (3) 第1～3レーンについては、車いす選手が専用利用できるよう、第4レーンにカラーコーンを設置し区分けを行っているので、車いす使用の競技者以外の者がアップをすることがないように注意する。
- (4) 競走競技（視覚障がい競技者含む）及びリレーの練習は、第5～8レーンを使用する。
※視覚障がい競技者の練習については第5・第6レーンの優先使用とし、練習の妨げにならないよう配慮する。
- (5) 視覚障がい競技者のスタート練習は、第9・第10レーンを使用する。
- (6) スタート及び短距離練習は室内練習場の第1～第4レーンを使用する。
- (7) 走高跳、走幅跳、立幅跳、スラローム、ビーンバック投及び砲丸投の練習は指定されたピットを使用する。
- (8) ソフトボール投・ジャベリックスローは多目的広場で行う。
- (9) 安全に練習を行うことができるように万全を期す。また走路横断所には必ず係員を配置し、接触事故のないように留意する。（状況に応じてカラーコーンの区分け）

【25 写真判定員】

1 任 務

写真判定装置を用いて、ホームストレートを使用するトラック全種目の選手の着順とタイムを判定する。

2 留意点

- (1) 各レースの競技開始前にスターターと連携して、装置が作動するか確認する。
- (2) 完走者全員の着順とタイムの判定を行う。
- (3) 長距離種目の周回及び着順の確認を周回記録員に確認する。
- (4) 着順と記録結果を速やかに情報処理へ転送する。
- (5) 車いす及び電動車いす使用者の判定は、胴体ではなく先に到達した車の車軸がフィニッシュラインに到着したことで決める。さらに車いすから転落などで車いすだけがフィニッシュラインに到着した場合には、競技は成立しないので気をつける。

【26 監察員】

1 任 務

- (1) 予め定められた地点で競技を監察して、競技者単独及び他人による規則違反がある場合または妨害が起こったときは、主任を通して審判長に報告する。
- (2) 主任はあらかじめ、監察員同士の連絡が取り合えるようインカム等を必要数準備する。
- (3) 主任はインカムを使用し、出発準備が整ったことをインカム1Chで報告する。

- (4) スタート付近の監察員は、スターター・リコーラーと協力し、不正スタート等があった場合には黄旗を使って選手の走行を阻止する。(ストッパーを2名配置する)
- (5) 競技を監察し、競技者又はその他の人による規則違反・妨害行為を確認する。
- (6) 特殊競技(スラローム)の際には、留意事項に配慮すること。
(35 特殊競技審判員の項目を参照のこと)

2 留意点

- (1) トラックの走路を横切り助走の行われる競技については、事前に該当競技審判員（フィールド審判員，マーシャル）と申し合わせて、競技の阻害にならないよう行動する。
(対象種目は走高跳，ソフトボール投，ジャベリックスロー)
- (2) 配置地点では携帯椅子を使用して、姿勢を正して競技者のレース状況を監察する。
- (3) 反則のあった場合は、速やかに監察マーカールを置いてレース終了後、黄旗を掲げる。
- (4) 競技において不正なスタートが行われた場合は、スターター、リコーラーと協力して監察員2名で競技者を確実に止める。(特に聴覚障がい者、知的障がい者の制止については適切な人数を配置する)
- (5) 800mのレースでブレイクライン通過後も同じレーンを走る選手がいた場合、内側のレーンに入ってもいいことを知らせる。
- (6) 競技において、スタートをやりなおす場合は、スターター、リコーラーと協力し、レーンに出て競技者を止め、その場合の説明は丁寧に行い、必要に応じて情報支援ボランティアなどと連携をはかる。
- (7) 視覚障がい者の競技では、伴走者が競技者の前に出て引っ張るなどの反則が見られる場合は、繰り返し注意をする。
- (8) 800mレースでは障害区分 26, 27 はブレイクラインマーカールを置き、それ以外ではブレイクマーカールを置かず、インとアウトフィールドに旗が内側を向くようにラップ旗を立てる。
- (9) スラローム競技においては、審判員と一緒に行動する。フィニッシュ後に、審判員から反則があったと告げられた場合はフィニッシュ地点で黄旗を上げる。
- (10) 車いすレースで車いすが転倒した場合の対応については次のように行う。レースを続行するか、本人に確認する。
- (11) 車いす、杖、補装具などが身体から離れ、拾うためレーンの外に出たりすることがある。そのことをきちんと主任に報告する。

(妨害の判断基準例)

- 転倒した。
 - レーン変更を余儀なくされタイムロスになった。
 - スピードを落とさざるを得ない状況になった。
 - 明らかに順位に影響がでた。
- (12) 車いすが競技者から離れ、フィニッシュラインを通過した場合は失格となる。

【27 ビデオ監察】

1 任 務

トラック競技の様子を動画撮影し、記録の正確性や規則違反の裁定についての補助資料としていく。

2 留意点

- (1) あくまでも監察員の目が主体であるが、ビデオ監察員から審議を要請してもよい。
- (2) 各レースのスタート時刻を記録し、すぐに再生できるように常に準備をしておく。
- (3) 審議となった映像を抗議に備えてすぐに再生できるように、カメラナンバーと発生時間を記録しておく。
- (4) 場合によっては抗議者待機所でビデオ再生の操作をすることがある。

【28 スターター・リコーラー】

1 任 務 TR16に基づき、以下の任務を遂行する。

- (1) 全ての競技者に対して公平で公正なスタートを保証することに責任を持ち、競技者がベストコンディションでスタートができる環境作りを心がける。
- (2) 不正を確認した場合には、スターターはリコーラー、出発係、監察員と協力して競技者を呼び戻し、どの競技者に警告もしくは失格を与えるべきか判断・決定し、レースをやり直す。
- (3) インカム担当者は、競技開始前に写真判定装置の作動を確認し、スタート後に装置が作動しなかった場合は、直ちに信号器を発射して競技者を呼び戻す。
※ (2)(3)のように競技者を呼び戻した際は、必要に応じて情報支援ボランティア等と連携を図り説明を行う。

2 留意点

- (1) スターター・リコーラーは特殊種目（スラローム、視覚障がい50m音響走）のスタートも担当する。
- (2) 障害区分によってスターターの立つ位置や姿勢を考慮することとし、聴覚障害（障害区分26・黄色いアスリートビブス）のトラック競技については以下の要領で行う。
 - ① スターターは、競技者から見えやすい位置で、100mと200mについては椅子に座った姿勢で、50m、800m、1500mについては立った姿勢でスタート合図を行う。
 - ② 「On your marks（位置について）」で信号器を肩に移動し、他方の手でスタート位置への移動を伝え、「Set（用意）」で信号器を保持したまま腕を地面と平行になるように前方へ伸ばし、信号器を発射する。
 - ③ 「Set（用意）」のない長距離種目では、「On your marks（位置について）」の後、選手がスタート位置に移動している際に腕を地面と平行になるように前方へ伸ばし、信号器を発射する。

《光刺激スタート発信装置について》

聴覚障がいスタートは、光刺激スタート発信装置（発信装置の光の色により、スターターの合図を察知しスタートすることができる）を使用することができる。選手は発信装置の使用・不使用を選択することができ、不使用の場合は審判が発信装置をレーン後方へ移動する。光刺激スタート発信装置を使用する場合（１００ｍ・２００ｍ競走）においても、スターターの合図は聴覚部門のスタート合図と同様である。なお、使用方法是下記のとおりであり、設置はスターターが行う。

- ① 選手は、光刺激スタート発信装置のボックスを見やすい位置に設置する。（スタートラインよりゴール側でも可）
- ② 「On your marks : オン・ユア・マークス」…赤色
※スイッチ操作担当者は発信装置のグリップスイッチ（白）を１回押す。
- ③ 「Set : セット」…黄色
※スイッチ操作担当者は発信装置のグリップスイッチ（白）をもう１回押す。
- ④ 「号砲」…白色または緑色
※スターターのピストルの号砲とボックスの光は連動しているため、スイッチは押さない。
- ⑤ 赤いグリップスイッチを押して、リセットする。



スイッチ操作担当者は、グリップスイッチの確認ランプを目視し発信装置が正常に動作しなかった場合は、直ちにリコールピストルを鳴らしレースを中断させる。その後、発信装置の故障、不具合により使用の継続ができない場合は、そのレースより使用を禁止し、従来通りの（目視）スタートへ変更する。ただし、発信装置が復旧した場合は再使用する。

【２９ 出発係】

１ 任 務

出発係は競技者を決められた時間に定められたレーンに誘導し、定時にスタートができるようにすることを任務とする。そのためにトラック審判長、競技者係、スターター、監察員、進行総務員、マーシャルなどと連携を図り、競技の円滑な進行に努める。

２ 留意点

- (1) スターティングブロック、レーンナンバー標識、バトンの準備について確認する。
- (2) スタート前、必要に応じて情報支援ボランティアの協力を得て、スタート要領の説明、スパイクの点検、車いすの検査証、腰ナンバーカード、スターティングブロック使用の有無な

どの必要事項を確認する。

- (3) 聴覚障がい者の場合は、手話通訳も一緒にレーンに入り、通訳を行う。
- (4) 用具の取り付けなどに支障のある競技者には援助する。
- (5) 視覚障がい者50mのスタートにおいては、スタートラインに足先、指先が触れないよう、補助木を使って選手に伝える業務を行う。
- (6) 誘導担当補助員から選手を受けたあと、競技の進行がスムーズに行われるよう、スタート地点に競技者を集め、適正な位置に着かせ、スタート準備後の確認をし、スターターにスタンバイ状況を知らせて、スターターが任務を十分に果たせるように指揮する。
 - ① 競技者が所定の競技・組・レーンに参加しているかを確認する。
 - ② 競技者が正しいアスリートビブス及び腰ナンバー標識をつけているかを点検する。
(胸部・背部・腰部の位置及び番号の確認)
 - ③ セパレートレーンを使用する競技では競技者を正しいレーンに誘導する。
 - ④ 競技者をスタート位置に整列させる。
 - ⑤ 400mまでの種目は、クラウチングスタートが認められているので、スターティングブロック使用の有無を確認する。
 - ⑥ 4×100mリレーの第1走者にバトンを配布する。
 - ⑦ 4×100mリレーの第2・3・4走者を正しいレーンや位置に並べるとともに、ダッシュマーク（粘着テープ）を配布する。→ダッシュマークの準備する
- (7) スターターによりスタートのやり直しが命じられたときは、必要に応じて情報支援ボランティアの協力を得て、主任（副主任）がその内容を該当競技者に注意を与える。

また、スタートの構えが不適切の場合は、情報支援ボランティアの協力を得て該当競技者に対して、その旨を指導する。
- (8) 競技者脱衣荷物の管理など秩序の統制を司る。(衣類運搬係)
- (9) 衣類運搬係補助員に、競技者が脱いだ衣服は競技者名を記入したビニール袋に入れ、競技終了者待機所まで運搬させる。また運搬の順番を決めて伝える。
- (10) スタート後はスターティングブロック、レーンナンバー標識などを速やかに撤去する。
- (11) 視覚障がい者部門の伴走者がつく場合は、「フィニッシュ時、並走などで写真判定ができない場合は失格となる。(競技者の斜め後ろに位置すること)」
→(競技規則2条7項(3))をスタート前に徹底する。
- (12) 視覚障がい者部門の競走競技で、セパレートレーンを使用する場合には、スタートラインを白テープで延長して、一人の競技者に2レーンを割り当てる。またスタート時は、スタートラインに板(補助木・白色)をのせて位置を知らせる。そしてフィニッシュ方向に手を挙げさせて方向を確認させる。補助木はスタート準備が完了するまで外さない。
- (13) スラローム、50m走(視覚障がい者部門)においても出発業務を行う。

《補助員の業務》

トラック競技において、スターティングブロックやレーン標識の準備・撤去を行う。

【30 周回記録員（含時計・決勝）】

1 任 務

- (1) 800mと1500mの競走では、周回表示器を用いて周回を競技者に知らせ、最終回には鐘を鳴らす。
- (2) 1周以上遅れた競技者が出た場合は、チェックして競技者が通過時に「あと何周」と文字板を示して告知する。
- (3) 視覚障がい者には、アスリートビブスと残りの周回数を告知する。但し周回遅れの競技者には残りの周回数を特製数字板（A4版）で表示するなど正確に伝える。（1500m）
- (4) トラック競技で、バックストレートで実施される種目（スラローム）の着順、タイムを計測する。なお、レースによっては、同一のレースにおいて、違う区分の競技者が参加する場合があるので、確認し、間違えないようにする。その他のトラック種目では、写真判定のバックアップとして着順、タイムを計測する。
- (5) 写真判定員とインカム等を通して密接な連携をとり、フィニッシュ時の判定に誤りのないように連携する。写真判定員との連絡方法（誰が周回遅れなのか、フィニッシュする競技者と周回遅れの競技者が重なったときなど）を決めておく。

【31 跳躍審判員】

1 任 務

- (1) 複数ピットの同時展開に伴って競技運営に支障がないように、競技役員の班編制を行い、用器具を同時展開用に整備して、規則に照らした競技方法で記録及び順位を決定する。主任は、主審、計測担当、記録担当、呼出係等の役割分担を決め、時間通り競技が実施できるようにする。
- (2) 記録については原則として競技システムに直接入力を行う。
- (3) 立幅跳は30cm、走幅跳は1mと2mの位置に踏切板（又は、踏切板と同じ長さ・幅のテープ）を準備し、走幅跳では、申込時に申請のあった踏切板を使用させる。
- (4) 区分24、25（区分24はアイマスクなどを着ける）の選手の走幅跳では、1mの位置に踏切板（1m幅のテープ）準備し測定補助木を使用して踏み切った場所の最も砂場に近い地点から踏切板前縁との平行線を引き、その平行線と着地点との最短距離で計測する。また、踏切板（地域）の手前で踏み切った場合には、着地点と踏切板（地域）の砂場より最も遠い方までの最短距離を計測する。
- (5) 区分24、25（区分24はアイマスクなどを着ける）の選手は、助走方向や踏切地点を知らせるために声や音響による援助が認められるため、あらかじめ音響等の準備をしておく。また、赤と白のコーンを踏切板の両側に置く。
- (6) 呼出係は、競技者誘導係から選手を引き継ぎ、スタートリストにより最終コールを行う。
- (7) 走高跳を除き、試技は3回とする。
- (8) 競技終了後、記録担当は速やかに記録を整理し、主任の確認の後、審判長の決裁を仰ぐ。また、呼出係は、競技者誘導係補助員に選手を引き渡す。

2 留意点

- (1) 公式練習は試技順に1回ずつ行う。
(競技の進行上により、審判長の判断で行わないこともある)
- (2) 各組ごとに記録・順位を決定する。
- (3) 当該試技者に試技を指示すると同時に次の試技者に準備するよう指示する。
- (4) 長さを競う跳躍競技の踏切線を設定する。また競技開始前には競技者にどの踏切線を使うか確認する。一度申し出た踏切線は変更できない。
- (5) 踏切線に近付き過ぎないように、少なくとも1m離れて位置する。
- (6) 立幅跳は、風の状態を記録しない。
- (7) 立幅跳は、足の位置を踏切線に揃えるため必要に応じて補助木（白色）を利用する。
- (8) 砂場周辺に置く物品（スコップ、トンボ等）の配置に気をつけ、競技者の安全管理に注意する。
- (9) 走高跳で使用するマット及び支柱は障害者用と一般用の両方に対応しておく。
- (10) 視覚障がい者、区分24、25（区分25はアイマスクなどを着ける）の立幅跳、走幅跳では競技者の申し出により助走方向や踏切地点を知らせるために手拍子などで跳躍方向を知らせる。その際マーシャル、アナウンサーと連携して場内を静かにさせ、競技に支障のないようにする。
- (11) 走高跳の最初のバーの高さは下表のとおり。

区分	性別	高さ	性別	高さ
区分2	男子	140 cm	女子	120 cm
区分3	男子	140 cm	女子	120 cm
区分25	男子	115 cm	女子	100 cm
区分26	男子	130 cm	女子	100 cm
区分27	男子	100 cm	女子	100 cm

※バーの上げ幅は一律2cmとする。

- (12) フィールド外（トラック走路）から助走する競技者については、マーシャルと連携し、他競技の支障にならないよう、また危険のないよう留意する。
- (13) 競技者が跳躍ピット（待機所）競技場所から勝手に離れないよう留意する。
- (14) 競技終了後、競技者を競技終了者待機所に誘導するよう誘導担当補助員に指示する。
- (15) 聴覚障害者に対しては手話通訳・文字情報支援の協力を得て競技進行を図る。なお手話通訳・文字情報支援の任務は次の通りであるので事前に打ち合わせをしておく。
- (16) アスリートビブス、氏名、ルール確認の通訳をする。
 - ① 試技順による練習などの指示事項を通訳する。
 - ② 競技役員からの注意事項を通訳する。

各種目の踏切距離（踏切線と砂場の距離）

- ・立幅跳……30 cm

※踏切線は50 mm幅の白テープ×4及び50 mm×2の緑テープで対応。踏切線を出るとファール

- ・ 走幅跳…… 1 m, 2 m

※別表（競技規則集参照のこと）のとおりとし、当日の変更はできない。

※ 2 mは既存の踏切板を使用。また 1 m踏切線は 50 mm幅の白テープ× 4 及び 50 mm× 2 の緑テープで作成する。

- ・ 視覚………区分 2 4, 2 5（区分 2 4はアイマスクなどを着ける）の走幅跳
…幅 2 mの白テープ及び 50 mm× 2 の緑テープで踏切線を作成する。

《補助員の業務》

- 1 競技開始前の用器具の運搬、配置及び競技終了後の片付けの補助を行う。
- 2 立幅跳、走幅跳では砂場整備の補助を行う。
- 3 走高跳では審判員の指示に従い、バーのセッティング及びマットの整備を行う。

【3 2 投擲審判員】

1 任 務

- (1) 記録については原則として競技システムに直接入力を行う。
- (2) 複数ピットの同時展開に伴って競技運営に支障がないように、競技役員の班編成を行い、用器具を同時展開用に整備して、規則に照らした競技方法で記録及び順位を決定する。
- (3) 主任は、主審、痕跡判定担当、着地判定担当、計測担当、記録担当、呼出係等の役割分担を決め、時間通り競技が実施できるようにする。
- (4) 投てき競技の練習は 1 回、試技は 3 回とし、ローテーションで行う。ただし、座位の選手は、種目に関わらず 3 回連続して行う。
- (5) 呼出係は、競技者誘導係補助員から選手を引き継ぎ、スタートリストにより、最終コールを行う。
- (6) 区分 2 4, 2 5（区分 2 4はアイマスクなどを着ける）の（視覚障がいのある）選手は、助走方向や踏切地点を知らせるために声や音響による援助が認められるため、あらかじめ音響等の準備をしておく。
- (7) 競技終了後、記録担当は速やかに記録を整理し、主任の確認の後、審判長の決裁を仰ぐ。また、呼出係は、競技者誘導係補助員に選手を引き渡す。

2 留意点

- (1) 1 回の試技時間は、競技役員が用器具を選手に手渡してから、1 分間とする。
- (2) 公式練習は試技順に 1 回ずつ行う。（競技の進行状況によっては、投てき審判長の判断により行わないこともある）
- (3) 表彰組ごとに記録・順位を決定する。
- (4) 危険防止には特に留意し、サークルの真後ろに人を立たせないようにする。
- (5) 砲丸の重さは障害区分により異なるので留意し、適正な重さを確認する。
（使用用具一覧を参照のこと）
- (6) 競技者が投てきピット（待機所）から勝手に離れないように留意する。
- (7) 車いす使用者が競技する際、競技補助員と協力して審判が車いすを固定する。

ただし、支持に特別な方法がある場合は、選手団側の介助者が支持することを認める。

- (8) 視覚障がい種目では、音響を使用する試技もあるので音源を準備する。
- (9) 競技終了後、競技者誘導係補助員に競技者を競技終了者待機所へ誘導するよう指示する。
- (10) 試技全ての記録を計測する。
- (11) 聴覚障がい者に対しては情報支援ボランティアの協力を得て競技進行を図る。なお、情報支援ボランティアの任務は次のとおりであるから事前に打ち合わせをしておく。
 - ① アスリートビブス、氏名、ルール確認の通訳をする。
 - ② 試技順による練習などの指示事項を通訳する。
 - ③ 競技役員からの注意事項を通訳する。
- (12) 計測は障害区分等の状況をふまえ、スケール或いは光波による。いずれも1投毎に記録する。

《補助員の業務》

- 1 競技開始前の準備及び競技終了後の撤収作業の補助を行う。
- 2 投てきされた用器具を運搬する。
- 3 戻ってきた用器具を清掃して、競技者に渡す。
→ 清掃用具の準備

使用器具一覧

《砲丸投》

使用器具	障害区分
4 kg	男子（1部）1, 4～9, 13～15, 24～26
2. 721 kg	男子（1部）12, 19～22 男子（2部）1, 4～9, 12～15, 19～22, 24～26 女子（1部, 2部）1, 4～9, 12～15, 19～22, 24～26

《ジャベリックスロー》

男女ともターボジャブ（長さ 70cm, 重量 300 g）

【3 3 科学計測員】

1 任 務

- (1) 計測種目は、投てき競技と踏切板を使用する区分の跳躍種目とし、全ての試技を計測する。
- (2) 競技開始前に関係技術者と打ち合わせ、技術者から提示された技術上の必要事項を考慮し、装置の設置場所を管理する。
- (3) 競技開始前に、複数の審判員及び審判長と一緒に鋼鉄製巻尺の測定結果と一致するよう一連の計測を確認し、公式計測員に報告し確認を受ける。
- (4) 競技中は操作の全責任を負い、競技終了後は全ての計測が正しく行われたかを確認し、該当種目の主任に報告する。

2 留意点

- (1) 全ての競技開始前に、投てき審判員、跳躍審判員と連携して、必要な装置を設置しテスト計測として2～3か所の任意測点を設け、確認する。
- (2) 装置に故障が発生し計測不能となった時は、その競技の主任を通して審判長に連絡し、計測を鋼鉄製巻尺に変更するかどうか指示を仰ぐ。

【34 車いす検査係】

1 任 務

- (1) 招集前に競技種目（トラック・フィールド）ごとに、競技に使用する車いすを競技規則に準じて検査し、合格したときに車検査済（シール）を貼る。
必ず、車いす検査済（シール）に競技者の出場する競技No.を記載すること。
- (2) 複数種目出場者には種目毎にシールの色を変える。
- (3) 検査は競技開始予定時刻の60分前から開始予定時刻30分前（招集完了）まで行う。

2 留意点

- (1) 1度不合格であった場合でも、招集完了前までに修理・改善すれば再検査を受けることができ、合格すればその車いすを使って競技に出場することができる。
ただし、時間内に検査に合格しなければ、競技に出場することができない。

2種目に出場する場合、検査は競技出場毎に行う。主な検査内容（全国障害者スポーツ大会競技規則「1. 総則」第3条1項から9項まで）

- 1) 競走競技に使用する車いすの車輪の直径は、空気を入れたタイヤを含み、大輪は最大70cm、小輪は50cm以内であること。
- 2) 電動車いすと地面をけて移動する場合を除くスラローム競技に使用する車いすは、
(ア) 車輪の直径は、空気を入れたタイヤを含み、大輪は最大70cm、小輪は50cm以内であること。
(イ) シートの高さは、クッションを含めて63cm以下であること。
- 3) 地面をけて移動する者のスラローム競技に使用する車いすの車輪の直径は、空気を入れたタイヤを含み、大輪は最大70cm、小輪は50cm以内であること。
- 4) 投てき競技に使用する車いす（椅子等でもよい）は、シートの高さはクッションを含めて75cm以下であること。
- 5) 電動車いすは、JIS T9203（電動車いすの日本工業規格）に定めたものであること。

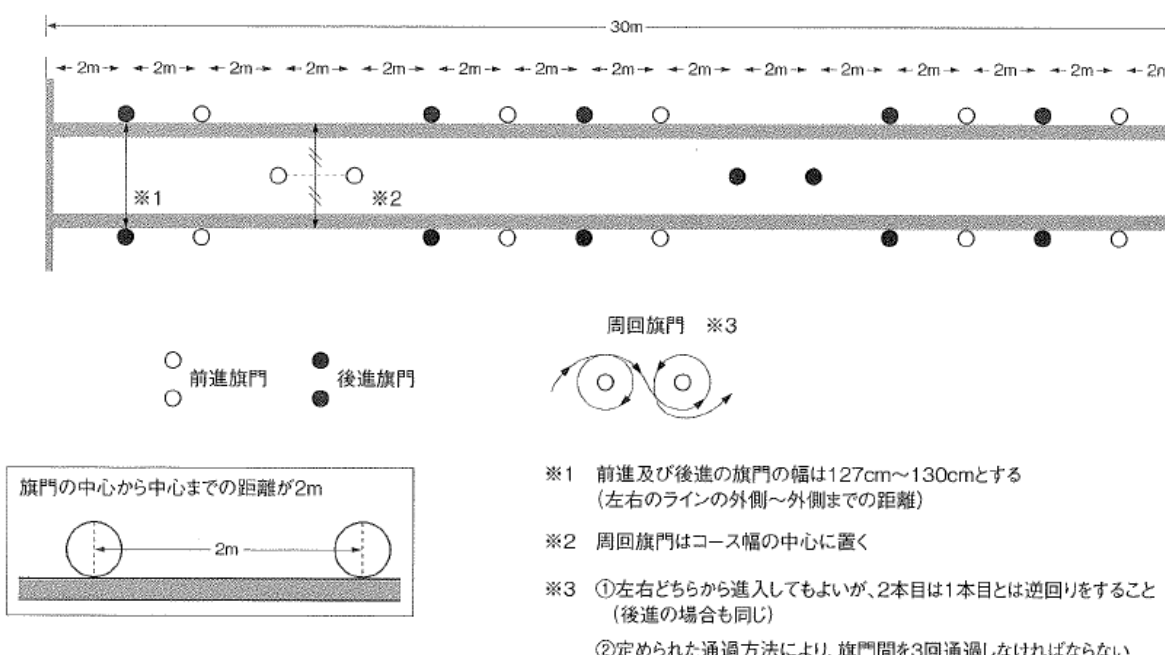
【35 特殊種目審判員】

- 1 特殊競技審判員は、全国障害者スポーツ大会固有の陸上競技（スラローム・視覚障害 50m 音源走）の審判及び監察を行う。
- 2 主任は、それぞれの競技役員（スラローム：審判員，記録審判員・視覚障害 50m 音源走：監察員，音源係，選手制止係）を決め，時間通り競技が実施できるようにする。
- 3 スラローム走の記録用紙の準備をする。

《スラローム》

- (1) コースは、3及び7レーンに設置し、主任は競技開始までにコースが競技規則通りに設置されているか確認し、公式計測員に報告する。
- (2) 審判員は、競技者誘導係から選手を引継ぎ、スタートリストにより、最終コールを行う。
- (3) 記録審判員は、位置についての競技者が車いす検査に合格していることを確認する。
また、記録票を用意し、旗門が倒れた場合は倒した旗門の場所並びに本数を記録表に記録する（1本＝5秒）とともに、他の競技役員と協力して競技者が安全に競技を続行できるように倒れた旗門を直ちに取り除く。
- (4) 審判員は、反則について監察し、反則があった場合は反則地点にマーカーを置き、競技者がフィニッシュ後、フィニッシュラインから最も近い反則のあった地点で黄旗を掲げる。
（フィニッシュまでに反則が解消された場合は、解消された時点でマーカーを回収する）
- (5) 審判員並びに記録審判員は、規則違反・妨害行為があった場合に事実を確認し、主任を通して記録票とともに審判長に報告する。
- (6) 記録審判員は、計時員の記録した到着計時に基づき、速やかに記録を整理し、主任の確認の後、審判長の決着を仰ぐ。加算タイムは、審判長が情報処理に伝達する。

〈スラロームの旗門の位置〉



《視覚障害 50m音源走》

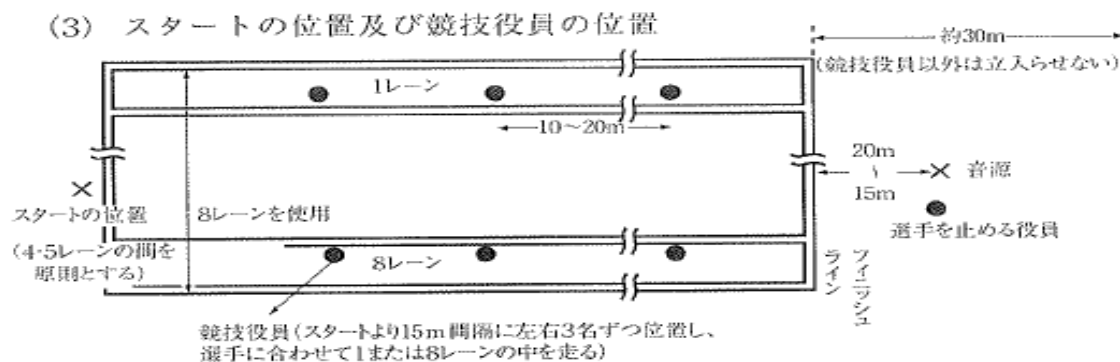
- (1) コースは、2から9レーンの8レーン分の幅を使用して行い、スタート位置は、2から9レーン使用の5レーンと6レーンの間を原則とする。
- (2) 競技は、フィニッシュライン後方から音源系の鳴らす音源と走路内の監察員の声によって競技者を誘導するものとし、音源はハンドマイクに収納した音源を使用する。
- (3) 主任は、監察員の配置を適切に行うとともに、出発係と協力して競技に先立ち競技者とスタート前のルーティーンや音源の音色、音源の鳴らし方、フィニッシュや危険な状態の時の注意や合図の仕方などを確認しておく。また、選手制止係と協力して競技時間中にフィニッシュラインの延長後方約30mのエリア内に競技に関係する役員以外を立ち入れさせないようにする。
- (4) 音源係は、フィニッシュライン中心から後方に15m～20mの位置から、スターターの「オン・ユアー・マークス」の合図から鳴らし続け、「フィニッシュ」とともに停止させる。
(スタート後に選手が左右にずれたとしても、フィニッシュするまで同じ位置から選手がスタートした位置に向けて音源を鳴らし続ける)
- (5) 監察員は、2から9レーン使用のとき2レーンと9レーンにそれぞれ3名ずつ計6名配置し、レーン内を選手に合わせ移動しながら、選手を誘導するために選手がレーンを離れた時に声による指示を行う。それでも監察員の位置するコース上までレーンを離れた時は、安全性を確保するために競技者の身体に触れるなどしてコース内に誘導する。ただし、選手に触れてコース内に戻す場合には、選手の横を併走しながらすり合わせるように向きを変えるようにする。決して正面から向きを変えようとしてはならない。

(例) 2から9レーンを使用して競技した場合

選手が右の7レーンに入ったら「左」、さらに8レーンにそれたら「左・左」と連呼する。レーンに入ったら「左・左・左」と更に連呼しながら身体に触れてコース内に誘導する。

- (6) 監察員は、本来の任務の他に、競技者がレーン外に出たときの安全に十分留意しておかなければならない。
- (7) 選手制止係は、競技者がフィニッシュラインを超えたら「フィニッシュ・フィニッシュ・フィニッシュ」と連呼し、フィニッシュしたことを競技者に知らせるとともに、選手の横を併走しながらすり寄るようにして競技者を止める。決して正面から止めようとしてはならない。

※選手を制止する監察員は同姓が望ましい。



※ 各種目における準備物一覧表

種 目	準 備 物	準備に係わる業務	担当係
50m (視覚含)	・ レーン表示 ・ 補助木 (角材) (視覚障がい者の出場時) ・ スタートライン ・ 50mm 幅の白テープ ・ 音源 (視覚障害者の出場時)	・ スタートラインの表示, 撤去	出発 技術総務
100m	・ レーン表示 ・ スタブロ ※知的障がい者の出場時 ※光刺激スタート発信装置 (聴覚障がい者の出場時)	・ 光刺激スタート発信装置	出発 技術総務 スターター
200m 400m	・ レーン表示・スタブロ ・ 50mm 幅の白テープ	・ 光刺激スタート発信装置	出発 技術総務
800m	・ ブレークラインマーカー ・ オープン旗 ・ 周回板		監察 周回
1500m	・ 周回板		周回
4 × 100mR	・ バトン ・ 50mm 幅の白テープ	・ ダッシュマークとして使用	出発 技術総務
スラローム	・ スタートライン (50 mm幅の白テープ) ・ フィニッシュライン・旗門ポイントシール ・ 競技用具一式 × 2 (3, 7レーン設置) → ストップウォッチ 記録用紙	・ スタートライン, 旗門のポイントの設置, (スタート付近, ゴール付近) の表示, ・ バックストレート 3, 7レーンに旗門を設置・撤去	特殊種目 技術総務
走高跳	・ マット	・ ピットの準備	跳躍
立幅跳 (視覚含)	・ 踏切テープ (50 mm幅 × 25m長の白テープ・50 mm幅の緑テープ・ステッパー) ・ 補助木 (角材) ・ 音源 ・ 通常の用具一式	・ 砂場から 30 cmのところに踏切テープを表示 ・ 視覚障害者の場合は補助木を使って踏切位置を伝える	跳躍
走幅跳 (身体・知的)	(知的, 身体〔視覚除く〕) ・ 踏切テープ	・ 砂場から 1mのところに踏切テープを表示 ・ 踏切位置を確認し,	跳躍

	(50 mm幅 × 25m長の白テープ・ 50 mm幅の緑テープ・ステープラー) (視覚) ・踏切テープ (200 mm幅 × 25m長の白テープ) ・測定補助木 ・音源 ・通常の用具一式 ・マーカー ・カラーコーン (赤・白)	測定補助木をあてて測定	
砲丸投 (視覚・車いす含)	・2. 721 kg, 4 kgの各砲丸 ・音源	・障害区分で使用する重さが決まってい ・測定方法の確認	投擲
ソフトボール投	・3号球のソフトボール ※男女とも ・音源	・測定方法の確認	投擲
ビーンバッグ投	・ビーンバッグ	・測定方法の確認	投擲
ジャベリックスロー	・ターボジャブ ・音源	・測定方法の確認	投擲

* その他

介助ビブス	・当日申請用紙		T I C
伴走ビブス			
ビデオ監察	・ビデオ一式	・4 × 100m ・スラローム	監察